

片瀬中学校での避難施設開設訓練

避難施設とは、地震災害、津波災害等により自分の家に居住できなくなった人が、一時生活する為の施設と食料や給水などの配給を行う拠点です。

具体的な活動は、避難者の受入と名簿作成、食料・水の受入・炊出し、備蓄物品の入荷・搬出、救護・応急処置対応、トイレ・発電機設置、内外部との情報伝達、避難者情報掲示、車両入構規制等です。

片瀬中学校での避難施設開設訓練は実地検証を兼ねて、防災会メンバーと自治会役員を対象に役割と課題を顕在化させると共に具体的な行動訓練も兼ねたものです。

今年度は6回目の開設訓練となり、去る5月30日(土)の午前中、藤沢市や片瀬中学校の関係者及び一般住民の協力も得て、合計84名で行われました。



次回は11月29日(日) 防災・安否確認訓練 を行います。是非ご参加下さい。

住民の皆様へ

片瀬山防災体制の現状をご存知ですか！！！！

片瀬山地区（1,800世帯4,200名）では 防災活動が下記の体制で行われています

*** 防災組織** 自治会・自主防災会・近隣ネットボランティア、全体で約200名です
地域全体の防災体制を推進するのは片瀬山防災会です

*** 一時避難場所** 東・西・南・北の各公園（自治会の防災拠点）及び片瀬中学校

*** 広域避難場所** 片瀬地区では片瀬中学及び片瀬山公園など

片瀬中学校は広域避難場所でもあり、その後避難施設として、片瀬山住民以外の
人々も利用します。 施設としては700名収容の施設です。

*** 備蓄倉庫**

- ・各公園の防災倉庫（災害対策器材の備蓄）
- ・片瀬中学校内の備蓄倉庫（避難施設運営に必要な器材備蓄）
- ・プール跡地の備蓄倉庫（藤沢市全体の災害備蓄品保管）

どの備蓄倉庫にも食糧・水・医薬品など、緊急時に必要とされる物は

ほとんど0と認識して下さい



必ず来る大地震に対し自助の備えはどのようになっていますか ???

このような片瀬山防災対策だけで あなたの 生命・財産を守れますか！！！！

この現状をしっかりと把握して下さい

自助の勧め

食料：1週間分

飲料水：1人1日3リットル

トイレ：非常時のトイレ用品

照明：LEDランタン、ローソク

燃料：カセットコンロ 等

すぐれもの紹介コーナ

ポータブル・ソーラ発電機とモバイルランタン(LED)



品名：GOAL ZERO
NOMAD7
価格：16,000円前後
ショップにより
価格異なる
アマゾン取扱いなし
問合せ先：0120-982-682

編集後記：災害発生時には行政はもとより、防災会、自治会も
頼りになりません。頼りは自分自身です。その後訪れる辛い
避難生活も、「備えあれば憂いなし」（自助）の実行を普段の
生活の中に取込む事が何よりも重要であると“防災だより”
の編集に当たり、大変強く感じた次第でした。和田



発行：片瀬山防災会

連絡先：メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者：会長(若月) 編集責任者：広報(和田)